

授業科目 在宅看護援助論Ⅲ	区分・教育内容 統合分野 在宅看護論		
授業担当者 堀井 喜世子 (専任教員)	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 15 時間
授業の目的 在宅療養者・家族が「健康でその人らしい生活」を維持していくために必要な日常生活支援技術を学ぶ。 授業の目標 1. 日常生活支援の実際を学び、看護技術の応用、家族への相談指導技術が理解できる。 2. 訪問時のマナーが理解できる。			
授業概要 在宅療養者の日常生活の支援は、療養者と家族が生活することを支える。「健康でその人らしい生活」が継続できるように、療養者と家族の生活に合わせた工夫をしながら、環境を整えることが重要である。ここでは、これまで学んできた看護技術を応用させた日常生活支援技術や信頼関係形成の方法を学ぶ。 授業計画 (進め方) 1 回目 在宅における日常生活支援技術 (食事) 2 回目 在宅における日常生活支援技術 (清潔・移動) 3 回目 在宅における日常生活支援技術 (排泄) 4 回目 在宅における日常生活支援の実際 (演習) 5・6 回目 訪問看護ロールプレイ演習 (グループワーク) 7・8 回目 訪問看護ロールプレイ演習 (発表)			
テキスト ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版			
指定図書・参考書			
評価の方法 課題レポート 70%、グループワーク 30%			